



セゾン投信 月次運用レポート

長期投資家の皆様へ

米日欧先進3地域の量的金融緩和(QE)マネーの株式市場流入が、世界同時株高へと導いています。直近で米ナスダック市場が史上最高値を抜きましたが、15年前のITバブル時とは様相を異にしている、企業業績の伸長に裏付けられた水準訂正であり、今回の株高は企業の成長範囲から決して逸脱しているわけではない期待相場とも言えましょう。

但し相対する債券市場は、QEによって先進3地域で金利水準が意図的に抑制され、ドイツ国債に至っては8年金利までがマイナスという、实体经济活動と金利の関係が合理的に説明し兼ねる未知の領域に入っていて、近代資本主義経済が新たな構造に進化して行く劇的転換期の過程にあるのではないのでしょうか。

ゼロ金利の定着やマイナス金利の出現は、将来の成長期待が失われているから、という悲観論も喧しいですが、最高値を更新した米ナスダック市場を主導する企業の顔ぶれは、新しい産業がイノベーションを伴って事業拡大を実現していることを実証しており、我々はいま歴史的パラダイムシフトに立ち合っていることを認識すべきでありましょう。

グローバリゼーションは第二幕に入り、エネルギー革命が否応なく先進国経済の産業構造転換を惹起させ、新興国経済の成長基盤の前提も変えつつあります。久しく20世紀構造に拘泥されたままだった日本であっても、適者生存へと必死の民間ビジネスは、行動規範を次なるパラダイムに適合させるべく行動を始めていることを見逃してはならないのです。

国家の在り方やヒエラルキーが次の構造を定めきれぬ間にも、民間が価値創造を志向し続けているかぎり、世界全体の成長軌道は決して途絶えるものではない！長期投資家の冷静なる大局観が、大いに本領を発揮すべき時であります。「セゾン号」は悠然と、この滔々たる成長軌道にしっかり追随して進んでまいります。

中野 晴啓

ご留意事項

当資料は、受益者へ向けた運用状況の開示ならびにファンドの紹介を目的として、セゾン投信株式会社によって作成された資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当該投資信託の取得を希望される方は、必ずセゾン投信が提供する投資信託説明書(交付目論見書)の内容を十分お読みいただき、ご自身でご判断下さい。

当資料は、信頼できると判断した情報により作成しておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。記載された意見・見通しは、作成日時点での記述者あるいは当社の見解を示したものであり、将来の動向や結果を保証するものではありません。また、将来予告無く変更されることがあります。当資料に記載された数値やデータは過去の実績を示すもので、将来の運用成果を保証するものではありません。また税金・手数料等の費用を考慮しておりません。

投資信託はリスクを含む商品であり、運用実績は市場環境等により異なります。外国証券には為替リスクもあります。従って元本保証はありません。

セゾン投信株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第349号

加入協会：一般社団法人投資信託協会

<http://www.saison-am.co.jp/>

お客様窓口 : 03-3988-8668 (受付時間 9:00~17:00 土日祝日、年末年始除く)

セゾン資産形成の達人ファンド

4月の市場動向

株式：【世界的な金融緩和の長期化、拡大観測が広がるなかで原油価格が反発に転じ、リスク選好が高まって堅調な展開】

米国で景気の減速懸念が高まり、先行きへの不透明感が高まっているものの、ユーロ圏の金融緩和策の影響で、先進国の国債金利が抑制され、中国でも金融緩和期待が高まるなかで、原油価格が反発に転じてリスクを選好する動きが強まり、堅調な展開となりました。

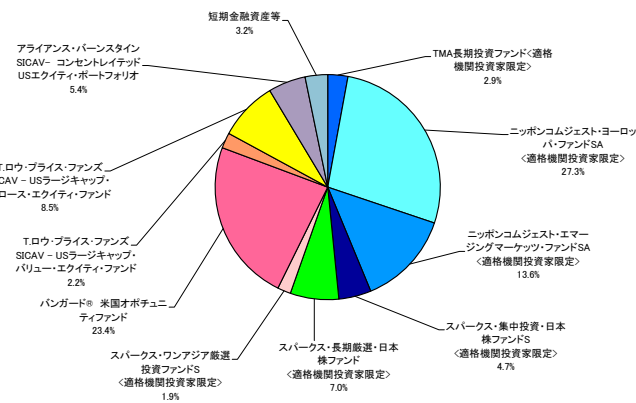
為替：【米国経済の先行きへの楽観的な見方が後退してドルが下落し、ユーロが反発。円はやや軟調な展開】

米国経済の先行きに対する楽観的な見方が後退したことからドルが下落基調となり、昨年からの低下基調が続いていたユーロが小幅ながら反発に転じました。円はリスク選好の高まりを背景にやや軟調な展開となり、対ドルで円高、対ユーロでは円安となりました。

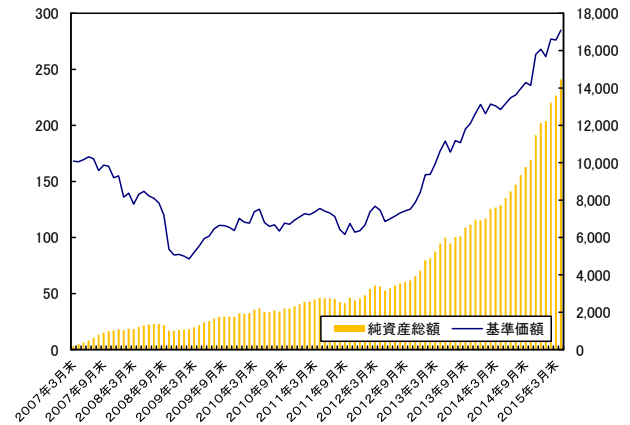
基準価額と純資産総額及び騰落率（2015年4月30日現在）

基準価額	純資産総額	設定来騰落率	過去1ヶ月の騰落率	過去6ヶ月の騰落率	過去1年間の騰落率
17,095円	241.0億円	+70.95%	+3.15%	+20.93%	+33.01%

資産配分状況（2015年4月30日現在）



純資産総額(億円) 基準価額と純資産総額の推移(設定来/月次) 基準価額(円)



4月の運用状況

今月の投資スタンス

4月度は、定期積立プランでの購入やスポット購入により、皆さまからお預かりした資金を利用して、アライアンス・バーンスタイン米国株式集中投資ファンド、スパークス・ワンアジア厳選投資ファンド、コムジェストヨーロッパファンド、T.ロウ・プライス米国大型グロースファンド、スパークス・長期厳選・日本株ファンド、TMA長期投資ファンドへの投資を行いました。また、T.ロウ・プライス米国大型バリュアーファンドの売却を先月に続いて行いました。なお、現金比率は前月と変わらず、月末時点で3.2%となっております。

ファンドマネジャーからの一言

4月度も、世界的な金融緩和の長期化観測を背景に、株式市場は概ね堅調な展開となっています。一方で、世界的に大規模な金融緩和策が長期間実施されているにもかかわらず、景気には、力強さが感じられない状況が続いています。

そのような状況の中でも、個別企業の事業と事業から生まれる利益、あるいは保有する資産に注目して投資を行うことが、外部環境に左右されにくい、安定したリターンを獲得に繋がると考えております。

当ファンドでは、引き続き、投資先ファンドを通じて、安全性や長期的な収益力を基準に銘柄の選別を行い、短期的な市場の動向ではなく投資対象の価値を重視して株式投資を継続することで、リスクを抑えながら皆様の長期的な資産形成に資することが出来るよう努めて参ります。

運用部 瀬下 哲雄

基本的な投資スタンス

私共が投資対象としているファンドは、いずれも中長期的な視点で投資を行っておりますが、保有している株式が割高となった場合やより良い投資機会を発見した場合、投資先の状況に大きな変化があった場合等については銘柄の売却を行うことがあります。もちろん、どのファンドも長期投資の理念を共有しており、短期的な売買を繰り返すことはありません。

私共は各投資対象ファンドについて、各ファンドがカバーする銘柄選択の対象を幅広くすることを意識しながら目標とする地域及びファンド毎の配分比率を決定します。その上で、主にファンドの購入により配分比率の調整を行っております。もちろん、短期的な市場動向の予測に基づいて投資先ファンドの売買を行うことはございません。

当ファンドでは、各投資対象ファンドがファンダメンタル分析に基づく中長期的な視点から各銘柄への投資を行い、その上で私共が十分に国際分散を図ることができるように資産配分を行うことで、皆様の長期的な資産形成に資するよう運用を行っております。

当ファンドに係るリスクについて

当ファンドはファンド・オブ・ファンズであり、主として投資信託証券に投資を行います。当ファンドは、株式や公社債を実質的な主要投資対象としており、株式や公社債の投資に係る価格変動リスクを伴います。一般に、株式の価格は個々の企業の活動や業績、市場・経済の状況等を反映して変動し、また、公社債の価格は市場金利の変動等を受けて変動するため、当ファンドはその影響を受け、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。また当ファンドは外貨建資産に投資し、原則として為替ヘッジを行いませんので、為替変動の影響を受け、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。

したがって、ご投資家の皆様の投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元金が割り込むことがあります。

当ファンドの基準価額の変動要因としては、主に「価格変動リスク」や「為替変動リスク」、「カントリーリスク」、「信用リスク」、「流動性リスク」などがあります。

※詳しくはセゾン投信が提供する投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。

当ファンドに係る手数料について

お客様には以下の費用をご負担いただきます。

◆申込時に係る費用

申込手数料はかかりません。

◆解約時に係る費用

解約手数料はかかりません。なお、解約受付日の翌々営業日の基準価額に対して0.1%の信託財産留保額が控除されます。

◆保管期間中に間接的にご負担いただく費用

信託報酬

ファンドの純資産総額に年0.5832%（税抜0.54%）の率を乗じて得た額とします。その他投資対象である投資信託証券において信託報酬がかかります。当該信託報酬も間接的に受益者の方にご負担いただく費用となりますので、実質的な信託報酬は、年1.35%±0.2%（概算）となります。

その他費用

信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用（有価証券の売買の際に発生する手数料や、有価証券の保管に要する費用等を含む）、監査報酬（消費税含む）および立替金の利息等が信託財産の中から差し引かれます。なお、当該その他費用については、運用状況により変動するものであり、事前に計算方法、上限額等を示すことが出来ません。

当該手数料の合計額については、ご投資家の皆様がファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

※詳しくはセゾン投信が提供する投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。

当資料は、受益者へ向けた運用状況の開示ならびにファンドの紹介を目的として、セゾン投信株式会社によって作成された資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当該投資信託の取得を希望される方は、必ずセゾン投信が提供する投資信託説明書（交付目論見書）の内容を十分お読みいただき、ご自身でご判断下さい。

当資料は、信頼できると判断した情報により作成しておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。記載された意見・見通しは、作成日時点での記述者あるいは当社の見解を示したものであり、将来の動向や結果を保証するものではありません。また、将来予告無く変更されることがあります。当資料に記載された数値やデータは過去の実績を示すもので、将来の運用成果を保証するものではありません。また税金・手数料等の費用を考慮していません。

投資信託はリスクを含む商品であり、運用実績は市場環境等により異なります。外国証券には為替リスクもあります。従って元本保証はありません。

セゾン投信株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第349号

加入協会：一般社団法人投資信託協会

<http://www.saison-am.co.jp/>

お客様窓口：03-3988-8668（受付時間9:00~17:00 土日祝日、年末年始除く）



セゾン投信